

令和5年5月31日号

御幸が原小だより

～運動会 大成功！～



発行 宇都宮市立御幸が原小学校

校長 稲澤 正明

栃木県宇都宮市御幸ヶ原町 53-2

TEL 028-663-0358

e-mail mihara-e@ueis.ed.jp



学校 HP QRコード

晴天に恵まれた運動会。保護者の皆さまには運動会の準備から当日の競技への対応、そして後片付けとたいへんお世話になりました。おかげさまでスローガンのとおり「みはらっ子の絆」はもちろん、児童がもっている力・熱量等々様々なものが十分発揮できた運動会だったと感じています。ありがとうございました。練習はGW明けから本格的に始まりました。期間中、子供たちは練習と教科学習を両立させながら、学校生活を送っていました。そんなみはらっ子の文武両道の様子もお知らせします。



勝利のかぎは 熱い思いと 仲間の絆



文武両道のみはらっ子

運動会練習期間中であっても、子供たちは教科学習に熱心に取り組んでいました。学校生活はすべての時間が学びの時間です。今後も、学習も運動もあらゆるものを自分磨きのチャンスととらえ、大きく成長して欲しいと思っています。



← 1年生朝の学習
4年生 算数 →



← 3年生 社会
6年生 算数 →



給食室のエアコン工事終了

3週間にわたって行われてきた給食室のエアコン設置工事が終了しました。給食停止期間中のお弁当作りでは、保護者の皆さんにご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。お弁当期間中には、各クラスが屋上や校庭でランチを楽しんでいました。これまで空調設備のない中であっても、毎日おいしい給食を調理していただいた調理員さんありがとうございました。これからもおいしい給食を楽しみにしています。



子どもたちの登下校に思うこと

子どもたちの毎日の登下校。見慣れた風景ではあるが、この時間にも子どもたちにはたくさんの学びがある。自分の足で、仲間と歩くことで知らず知らずのうちに体と心のたくましさを身につけていく。歩く距離は、1日2kmとすると6年間で2,400km（札幌～沖縄 2,200km）ほぼ日本縦断の距離となる。暑さ・寒さ・雨・風など天気は子どもであっても容赦はしない。夏の日差しや冷たい北風と闘いながら歩く時もある。上級生は、入学間もない1年生との体力差を感じ思いやりや気遣いの心も育つ。先日の雨の日には6年生が歩道橋の階段を降りる1年生を振り返り、歩くスピードを緩めながら降りている姿があった。時には班の中でのめめ事もある。しかし、固定された班の中でずっとそのままではいけないと気付くと関係の改善を試みる。この関係を改善しようとする考えや行動に大きな学びの瞬間がある。季節の移ろいにも敏感になる。暑い・寒いの種類ではない季節ごとの空気のおいや雲の形等々、スポンジのような吸収力を持つ今だからこそ育つ情緒がある。車に気を付け安全な歩き方も身に付ける。このように、毎日の登下校の時間には活字だけでは学べない学びがたくさんある。だからこそ、子どもたちの豊かでたくましい心身の成長を願い、時に励まし認めながら、温かいまなざしで子どもたちの歩く姿を見守っていきたい。そして、子どもたちにエールを込めて「いってらっしゃい」「おかえり」「こんにちは」と子どもたちを取り巻く周囲の大人全体で声をかけていきたいと思う。